

6 月度 例会 個人 山行報告書		報告者	津田 廣一	参加 メンバー	CL:津田 廣一 利栄子
		報告日	07 / 11		
山 域	北海道	山行日	12 年 06 月 27 日 (水)		
山 名	利尻山_礼文岳		28 日 (木)		

山行目的	北海道の山を楽しむ	コースタイム (天候: 天気図記号)
------	-----------	--------------------

配布先
集会:12
山行: 1
リーダー
原紙: 集
会担当者

ルート図 (地図を見て正確に)

2.5 万分の 1 地図: 鷲泊、礼文岳 <長官山より利尻>

6/27 晴れ
05:00 登山口 (3 合目) 発
05:40 4 合目 1 本 (5 分)
06:15 5 合目 1 本 (10 分)
06:45 6 合目 (通過)
07:10 7 合目 1 本 (5 分)
07:40 第 2 見晴台 1 本 (10 分)
08:08 長官山 (8 合目通過)
08:55 9 合目 1 本 (10 分)
10:00 利尻山山頂
10:35 利尻山山頂発
11:15 9 合目 1 本 (10 分)
12:25 7 合目 1 本 (5 分)
13:50 登山口下山

14:10 登山口発
15:40 姫沼
(送迎)
16:30 鷲泊宿泊旅館着
17:00~18:00 利尻富士

6/28 晴れ
11:30 登山口 (内路) 発
12:20 1 本 (10 分)
13:25 礼文岳山頂
13:50 山頂発
15:05 登山口下山
(送迎)
15:40 宿泊ホテル着

山行報告 憧れの6月の北海道。定年リーチの今年、思いきって計画。昨日、稚内へ飛び、フェリーで利尻へ。近づくにつれ、利尻が大きく見えてくる。4 時起床、朝食代わりのお握りをリュックに詰め、旅館の車で登山口へ送ってもらう。出発して、10 分も行くと甘露泉、空いたベットへ詰める。飲んでみると美味しい。妻とたわいない事をしゃべりながらポレポレペースで歩くも、すぐにツアーの団体に追いついた。広い所で道を譲ってもらう。40 分程、歩いた所で 4 合目。朝食にお握りを一つ食している間に、ツアー組が到着。休憩場所を譲り、歩きだす。30 分も歩くと 5 合目、少々早いのが 1 本。これからの急登に備えて、腹持ちのいい大福とバナナを半分づつ分け合って食べる。登りが急になり、次第に黙々と登るようになってくる。6 合目の第 1 展望台で別ツアーの団体さんが休憩している。場所がないので、景色だけを楽しみそのまま通過、7 合目にて 1 本。水分補給でトマトを半分づつ食べていると、先程のツアー団体さんが到着。又も、場所を譲って先へ。急坂を登り、広い第 2 見晴らし台にて 1 本。雪渓の残る山肌の眺望とバナナを食して、体力回復を図る。ツアー団体の到着を機に先へ進む。長官山は利尻をバックに写真だけを撮って通過、避難小屋のある 9 合目で 1 本、とっておきのゼリーと蜜柑を食べる。いよいよ正念場だ。崩壊が進むザレ場を後ずさりしない様に一步一步と注意して登る。妻も辛そうに喘いでいる。休み場所がなく、1 時間弱、頑張っ山頂へ。しっかりと握手を交わして写真を撮る。眺望を楽しみながら、お握りを頬張り下山。予定よりも早く、姫沼まで足を延ばしてみた。残念ながら、逆さ利尻は見えなかったが、迎

えにきてもらい、利尻 で汗を流し、美味しいビールと料理に満足の 1 日であった。

翌日、礼文へ渡り、路線バスで登山口へ。郵便局で荷物を預かってもらい、登り出す。最初から急登なのに、妻にトップをさせるとものすごいペースで登っていく。“こりゃ、最後までもたん”と思って、トップ交代。2 ピッチで山頂へ着くが、頂上付近は風が強く、風を避けての昼食。写真を撮って、早々に下山。目

リーダー所見 「北海道は行った事がない」という妻を誘い、6 月の花も

楽しみに、2 山を計画した。妻の体力から、利尻については少しばかり心配もしたが、去年は富士山へも登っており、ポレポレで行けば大丈夫だろうと思っただが、天候も幸いして、思ったより早いペースで登る事ができた。二人で楽しい登山が出来て最高だった。今度は、登山ではなくて、花の島、礼文の花トレッキングを計画してみたい。



利尻山頂



← 姫沼

確認
(リーダー)
津田
12.7.11
作成
(報告者)
津田
12.7.11